



2013年11月 記載要領変更に伴う改訂

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

筋肉・関節の痛みに

サロメチール[®]ID1%クリーム

インドメタシン1%配合 外用鎮痛消炎薬

- 本品は、非ステロイド性鎮痛消炎剤のインドメタシンを1%配合しています。
- インドメタシンは、皮膚から肩、腰、ひじ・ひざの関節、手足などの痛みのある部分に直接浸透し、痛みの原因となる物質の生成を抑え、肩、腰、関節及び筋肉などの炎症をしずめ、つらい痛みを取り除きます。
- L-メントールを配合しており、スーツとした心地よい清涼感で痛みをやわらげます。
- べとつかず、のびが良く、塗った後も目立たない使いやすいクリームです。
- 微香性ですので、においを気にせずにお使いいただけます。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人。
2. 次の部位には使用しないでください
 - (1) 目の周囲、粘膜等。
 - (2) 湿疹、かぶれ、傷口。
 - (3) みずむし・たむし等又は化膿している患部。
3. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

〔効 能〕

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫



肩こりに伴う肩の痛み



腰痛



関節痛



筋肉痛

〔用法・用量〕

1日4回を限度として適量を患部に塗擦します。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)11才以上の小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)11才未満の小児には使用させないでください。
- (4)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- (5)本剤のついた手で、目などの粘膜にふれないでください。
- (6)外用にのみ使用してください。
- (7)本剤を入浴前後にご使用になった場合、皮膚の浸透性がよくなるため、強い刺激(ヒリヒリする等)を感じる場合があります。この場合は、すぐに石けん又はぬるま湯で洗い流してください。
- (8)時計、めがね等の金属類、化学繊維の衣類、プラスチック類、塗装のしてある床・家具等に付着すると変質することがありますので、付着しないように注意してください。
- (9)衣類に付着した場合は、なるべく早く水又は洗剤で洗ってください。
- (10)1週間あたり50gを超えて使用しないでください。
- (11)皮膚の弱い人は、同じ所に続けて塗擦しないでください。
- (12)本剤を塗った後の患部を通気性の悪いもので覆わないでください。

〔成分・分量と働き〕 100g中

成 分	分 量	働 き
インドメタシン	1.0g	非ステロイド性鎮痛消炎剤で、皮膚から直接患部に浸透し、炎症や痛みの原因となる物質の生成を抑え、肩、腰、関節及び筋肉などの炎症やはれをしずめ、つらい痛みを取り除きます。
l-メントール	3.0g	局所冷感刺激剤で、知覚神経の末梢に作用して肩、腰、関節及び筋肉などの痛みをやわらげます。

添加物として、ポリソルベート80、カルボキシビニルポリマー、1,3-ブチレングリコール、オクチルドデカノール、亜硫酸水素Na、エデト酸Na水和物、トコフェロール酢酸エステル、パラベン、ジイソプロパノールアミン、クエン酸水和物を含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限(外箱及びチューブに記載)をすぎた製品は、使用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間:9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

発売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号
製造販売元
ジャパンメディック株式会社
富山県富山市横越168